



平成 19 年 11 月 16 日

各 位

埼玉県春日部市赤沼 870 番地 1
 会社名 株式会社 篠崎屋
 代表者名 代表取締役社長 樽見 茂
 コード番号 2926 東証マザーズ
 問合せ先 経営企画部長兼 IR 室長
 沼崎 昭宏
 電 話 048 - 970 - 4949

特別損失および業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 5 月 18 日に公表した平成 19 年 9 月期（平成 18 年 10 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 19 年 9 月期業績予想の修正（平成 18 年 10 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日）

（1）連結業績予想

（単位：百万円、％）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	8,719	319	350	799
今回修正予想（B）	8,528	518	640	1,518
増減額（B - A）	191	199	290	719
増減率（％）	2.2	-	-	-
（ご参考） 前期（平成 18 年 9 月期）実績	10,944	169	271	966

（2）個別業績予想

（単位：百万円、％）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	5,331	175	153	885
今回修正予想（B）	5,191	338	359	1,490
増減額（B - A）	139	163	206	605
増減率（％）	2.6	-	-	-
（ご参考） 前期（平成 18 年 9 月期）実績	3,955	275	402	887

2. 特別損失の計上および修正の理由

平成 19 年 9 月期（連結・個別）に関し、売上高につきましては平成 19 年 3 月 31 日付で事業を譲受けました飯村商事との統合による生産・販売体制の整備を進めてまいりましたが、利益率の低い商品の販売を段階的に見直した結果、連結業績におきましては 2.2%、個別業績につきましては 2.6%計画を下回る見込みであります。

利益につきましては、小売事業における店舗数の減少等による既存販売商品構成の変化と主要 3 工場の製造現場において生産体制の整備と効率化への対応に遅れが生じたことに加えて、生産量の増加する今第 4 四半期において大豆歩留まり悪化による原材料コストの負担増等の影響を受けたことが粗利率低下の要因となりました。

特に今第 4 四半期の粗利率は計画を 3 ポイント程度下回ったことに加えて、シェア拡大を目的に販売促進を強化したため人件費および販売費が計画を上回ったことが要因となり、個別業績において営業利益および経常利益が計画を下回る見込みであります。連結業績においては、個別業績に加えて㈱ドナテロウズジャパン、㈱大秦とのシナジー効果をあげるために経営資源を効率的に注力できなかった結果、営業損失を計上したことが要因となり営業利益および経常利益が計画を下回る見込みであります。

また、特別損失に関しましては、取引先等に対する貸付金、売掛金等に対して 240 百万円の貸倒引当金を新に設定するとともに遊休工場等の減損 85 百万円および外食店舗の固定資産除却損を 31 百万円計上することといたしました。

これらを主要因として、今第 3 四半期までの計上分と合わせ、連結業績において 1,210 百万円、個別業績において 1,250 百万円を特別損失として計上することといたしました。

これらが主な要因となり、当期純利益の減少となりました。

以上より、平成 19 年 9 月期（連結、個別）の業績予想につきましては、上記数値のとおりとさせていただきます。

以 上